

## 螺湾川

### 概要

螺湾川はオンネトーの唯一の流出河川であり、オンネトーから輝くような青色の水を国立公園外に運んでいます。足寄市街地で足寄川へと接続したあと最終的には十勝川に合流し、太平洋へと流れ込みます。上流部の周辺は原生的な森林帯で川底にはハゼなどの魚も観察できます。この川の最大の特徴は、なんとといっても流域で自生するラワンブキです。螺湾川の綺麗な水に育まれたラワンブキは高さ2~3mにも達し、北海道遺産に指定されています。このラワンブキは、6月から7月にかけて、国立公園外の鑑賞ほ場で見るすることができます。

### ラワンブキについて

ラワンブキはアキタブキの1種と考えられていますが、何故これほど巨大に育つかについては分かっていません。以前より食用として採集されており、流域にある自生地は減少しましたが、現在は農家がほ場で栽培したものが出荷され、足寄町の特産品となっています。